

## 演習問題 解答・解説

### [演習問題 1]

#### 残高試算表

×年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
127,000	現 金	
291,000	当 座 預 金	
170,000	受 取 手 形	
324,000	売 掛 金	
90,000	有 価 証 券	
27,000	繰 越 商 品	
300,000	建 物	
80,000	備 品	
	支 払 手 形	132,000
	買 掛 金	250,000
	借 入 金	230,000
	建物減価償却累計額	120,000
	備品減価償却累計額	18,000
	資 本 金	550,000
	売 上	479,000
305,000	仕 入	
24,000	支 払 家 賃	
36,000	給 料	
1,000	手 形 売 却 損	
2,000	有 価 証 券 売 却 損	
2,000	支 払 利 息	
1,779,000		1,779,000

【解説】

期中取引の仕訳を示すと、以下のとおりである。

		借方科目	金額	貸方科目	金額
①	a	現金	87,000	売上	87,000
	b	仕入	45,000	現金	45,000
	c	当座預金	60,000	現金	60,000
	d	現金	28,000	当座預金	28,000
	e	現金	31,000	売掛金	31,000
	f	支払家賃	24,000	現金	24,000
	g	給料	36,000	現金	36,000
②	a	① c と重複			
	b	① d と重複			
	c	当座預金	92,000	受取手形	92,000
	d	支払手形	78,000	当座預金	78,000
	e	当座預金	160,000	売掛金	160,000
	f	買掛金	95,000	当座預金	95,000
	g	当座預金 手形売却損	14,000 1,000	受取手形	15,000
	h	当座預金 有価証券売却損	28,000 2,000	有価証券	30,000
	i	備品	30,000	当座預金	30,000
	j	借入金 支払利息	70,000 2,000	当座預金	72,000
③	a	① a と重複			
	b	売掛金	350,000	売上	350,000
	c	受取手形	55,000	売上	55,000
	d	売上	13,000	売掛金	13,000
④	a	① b と重複			
	b	仕入	222,000	買掛金	222,000
	c	仕入	47,000	支払手形	47,000
	d	買掛金	9,000	仕入	9,000
⑤	a	受取手形	35,000	売掛金	35,000

※ 期中取引の資料の中には、同一の取引が重複して示されている部分があるため、解答にあたってはこの重複を除外しなければならない。

[演習問題 2]

合 計 残 高 試 算 表

×年7月31日

借方残高	借方合計	勘 定 科 目	貸方合計	貸方残高
156,200	198,500	現 金	42,300	
63,500	270,000	当 座 預 金	206,500	
10,000	80,000	受 取 手 形	70,000	
202,600	365,600	売 掛 金	163,000	
50,000	50,000	繰 越 商 品		
20,800	70,800	有 価 証 券	50,000	
65,000	65,000	備 品		
	53,000	支 払 手 形	55,000	2,000
	131,000	買 掛 金	225,100	94,100
	13,000	預 り 金	21,200	8,200
	20,000	借 入 金	50,000	30,000
		資 本 金	345,000	345,000
	6,000	売 上	400,600	394,600
229,800	234,100	仕 入	4,300	
57,000	57,000	給 料		
8,500	8,500	支 払 家 賃		
4,000	4,000	手 形 売 却 損		
5,000	5,000	支 払 利 息		
1,500	1,500	( 有 価 証 券 売 却 損 )		
873,900	1,633,000		1,633,000	873,900

売 掛 金 明 細 表

	7月25日	7月31日
広島商店	¥ 80,000	¥ (120,200)
山口商店	¥ 62,000	¥ ( 82,400)
	¥ 142,000	¥ (202,600)

買 掛 金 明 細 表

	7月25日	7月31日
京都商店	¥ 38,000	¥ ( 52,800)
奈良商店	¥ 21,000	¥ ( 41,300)
	¥ 59,000	¥ ( 94,100)

**【解説】**

7月26日から31日までの諸取引の仕訳は、以下のとおりである。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
26日	売掛金(広島)	19,000	売 上	24,000
	売掛金(山口)	5,000		
	当座預金	10,000	売掛金(広島)	10,000
	買掛金(奈良)	8,000	当座預金	8,000
27日	仕 入	18,500	買掛金(京都)	10,500
			買掛金(奈良)	8,000
	備 品	15,000	当座預金	15,000
	現 金	48,500	有価証券	50,000
	有価証券売却損	1,500		
28日	売掛金(広島)	12,000	売 上	30,000
	売掛金(山口)	18,000		
	支払手形	6,000	当座預金	6,000
	支払家賃	2,500	現 金	2,500
29日	仕 入	22,000	買掛金(京都)	8,000
			買掛金(奈良)	14,000
	当座預金	14,000	受取手形	15,000
	手形売却損	1,000		
	買掛金(京都)	1,500	仕 入	1,500
30日	売掛金(広島)	19,200	売 上	31,600
	売掛金(山口)	12,400		
	給 料	11,000	預 り 金	1,200
			現 金	9,800
	借入金	20,000	当座預金	21,000
	支払利息	1,000		
31日	仕 入	13,600	買掛金(京都)	7,300
			買掛金(奈良)	6,300
	買掛金(京都)	9,500	当座預金	9,500
	当座預金	15,000	売掛金(山口)	15,000

\* 1 売掛金と買掛金は、まとめて仕訳してもよいが、売掛金明細表と買掛金明細表の作成を見据えて、ここでは取引先ごとに区別して仕訳している。

\* 2 30日の給料支給に関する仕訳において、所得税の源泉徴収分は「従業員預り金」勘定を用いることもあるが、7月25日時点の合計試算表および7月31日時点の合計残高試算表において「預り金」勘定を用いていることから、本問では「預り金」勘定で処理することを読み取る必要がある。

[演習問題 3]

精 算 表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	240,000						240,000	
現金過不足		9,000	9,000					
当座預金	224,000		57,000				281,000	
受取手形	314,000			60,000			254,000	
売掛金	262,000						262,000	
有価証券	300,000						300,000	
繰越商品	180,000		68,000	180,000			68,000	
備品	1,000,000						1,000,000	
建物	5,000,000						5,000,000	
支払手形		330,000						330,000
買掛金		293,000		6,000				299,000
借入金		1,240,000						1,240,000
仮受金		25,000	25,000					
貸倒引当金		5,000		5,320				10,320
備品減価償却累計額		400,000		100,000				500,000
建物減価償却累計額		1,250,000		200,000				1,450,000
資本金		2,500,000						2,500,000
売上		3,785,000				3,785,000		
受取手数料		29,000	12,000			17,000		
有価証券利息		2,000		2,000		4,000		
仕入	1,512,000		180,000	68,000	1,624,000			
給料	742,000				742,000			
保険料	51,000			20,400	30,600			
消耗品費	37,000			10,000	27,000			
支払利息	6,000		7,500		13,500			
	9,868,000	9,868,000						
雑益				3,000		3,000		
(前受金)				25,000				25,000
貸倒引当金繰入			5,320		5,320			
減価償却費			300,000		300,000			
(前払)保険料			20,400				20,400	
(手形売却損)			3,000		3,000			
消耗品			10,000				10,000	
(未払)利息				7,500				7,500
(前受)手数料				12,000				12,000
(未収)有価証券利息			2,000				2,000	
当期純(利益)					1,063,580			1,063,580
			699,220	699,220	3,809,000	3,809,000	7,437,400	7,437,400

**【解説】**

1. 残高試算表の空欄部分への記入

(1) 現金過不足

期中に明らかとなった現金過剰について、以下のような仕訳を行っている。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	9,000	現金過不足	9,000

したがって、現金過不足の行には貸方に¥9,000 が記入されることになる。

(2) 資本金

現金過不足の行に¥9,000 を記入した後、試算表の特徴（借方合計と貸方合計が一致する）を利用して、貸借差額により算定する。なお、本問では既に貸方合計が明示されているため、不足額を計算することも求められる。

2. 決算整理事項等に関する仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	現金過不足	9,000	買掛金 雑益	6,000 3,000
②	仮受金	25,000	前受金	25,000
③	当座預金 手形売却損	57,000 3,000	受取手形	60,000
④	仕入 繰越商品	180,000 68,000	繰越商品 仕入	180,000 68,000
⑤	貸倒引当金繰入	5,320	貸倒引当金	5,320
⑥	減価償却費	300,000	備品減価償却累計額 建物減価償却累計額	100,000 200,000
⑦	前払保険料	20,400	保険料	20,400
⑧	受取手数料	12,000	前受手数料	12,000
⑨	消耗品	10,000	消耗品費	10,000
⑩	支払利息	7,500	未払利息	7,500
⑪	未収有価証券利息	2,000	有価証券利息	2,000

\* 1 貸倒引当金の計算

$$\{受取手形(¥314,000 - ¥60,000) + 売掛金¥262,000\} \times 2\% = ¥10,320$$

\* 2 減価償却費の計算

$$\text{備品} : (\text{取得原価}¥1,000,000 - \text{残存価額}¥0) \div \text{耐用年数} 10 \text{年} = ¥100,000$$

$$\text{建物} : (\text{取得原価}¥5,000,000 - \text{残存価額}¥0) \div \text{耐用年数} 25 \text{年} = ¥200,000$$

\* 3 前払保険料の計算

$$\text{残高試算表計上額}¥51,000 \times \frac{\text{次期繰延分} 8 \text{ヵ月}}{\text{期首再振替分} 8 \text{ヵ月} + \text{当期支払分} 12 \text{ヵ月}} = ¥20,400$$

\* 4 未払利息の計算

$$\text{元本}¥500,000 \times \text{年利率} 3\% \times \frac{6 \text{ヵ月} (7 \sim 12 \text{月分})}{12 \text{ヵ月}} = ¥7,500$$

[演習問題 4]

損益計算書

自 ×年1月1日 至 ×年12月31日

費用	金額	収益	金額
売上原価	3,081,000	売上高	6,070,000
給料	1,900,000	受取地代	120,000
貸倒引当金繰入	740	受取配当金	31,000
減価償却費	125,200	受取利息	40,270
旅費交通費	460,000		
水道光熱費	186,000		
保険料	40,000		
通信費	20,000		
支払手数料	30,000		
消耗品費	30,000		
当期純利益	388,330		
	6,261,270		6,261,270

貸借対照表

×年12月31日

資産	金額	負債および純資産	金額
現金	153,000	支払手形	324,000
当座預金	551,000	買掛金	974,000
受取手形	462,000	前受収益	58,000
貸倒引当金	9,240	資本金	4,000,000
売掛金	325,000	当期純利益	388,330
貸倒引当金	6,500		
有価証券	800,000		
商品	520,000		
消耗品	20,000		
前払費用	80,000		
未収収益	270		
貸付金	600,000		
建物	700,000		
建物減価償却累計額	151,200		
備品	500,000		
備品減価償却累計額	300,000		
土地	1,500,000		
	5,744,330		5,744,330

【解説】

決算整理事項等に関する仕訳は、次のようになる。

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	仮受金	560,000	売掛金	560,000
②	売上	70,000	当座預金	70,000
③	仕入	251,000	繰越商品	251,000
	繰越商品	520,000	仕入	520,000
④	貸倒引当金繰入	740	貸倒引当金	740
⑤	減価償却費	25,200	建物減価償却累計額	25,200
⑥	減価償却費	100,000	備品減価償却累計額	100,000
⑦	未収利息	270	受取利息	270
⑧	前払保険料	80,000	保険料	80,000
⑨	受取地代	58,000	前受地代	58,000
⑩	消耗品	20,000	消耗品費	20,000

\* 1 売上原価の算定

期首商品棚卸高¥251,000 + 当期商品仕入高¥3,350,000 - 期末商品棚卸高¥520,000 = ¥3,081,000

\* 2 貸倒引当金の再設定

受取手形 : ¥462,000 × 2% = ¥9,240

売掛金 : (¥885,000 - ¥560,000) × 2% = ¥6,500

\* 3 減価償却費の計算

建物 : (取得原価¥700,000 - 残存価額¥70,000) ÷ 耐用年数 25 年 = ¥25,200

備品 : (取得原価¥500,000 - 残存価額¥0) ÷ 耐用年数 5 年 = ¥100,000

\* 4 利息の見越計上

貸付金元本¥36,000 × 年利率 3% ×  $\frac{3 \text{ ヲ月 (当期分)}}{12 \text{ ヲ月}}$  = ¥270

\* 5 保険料の繰延計上

残高試算表計上額¥120,000 ×  $\frac{8 \text{ ヲ月 (次期分)}}{12 \text{ ヲ月}}$  = ¥80,000